

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	電話診療における課題把握のための処方解析調査
研究責任者	【研究責任者】聖隷浜松病院 薬剤部 栗原 啓輔 【研究分担者】くすり mate 研究事業担当 溝口 亨昂 (株式会社ベストシステム取締役、あるぷす薬局上島本店 管理薬剤師)
研究実施体制	当院薬剤部
研究期間	【期間】 臨床研究審査委員会承認日 から 2022年 3月
対象者	【対象患者】2020年4月1日以降に電話診療を受けた患者 【除外基準】なし
研究の意義・目的	近年、COVID-19の流行により一時的に電話診療が認められました。現在聖隷浜松病院では、医師が一部の患者に対して電話診療を行い、症状等確認後、処方せんを発行します。その際に利用する薬局を確認し、病院薬剤師が該当する薬局へFAXする。保険薬局は処方せんを元に調剤を行い、薬局で直接薬の受け渡し、もしくは患者宅へ郵送するなどの対応を行っています。今後、このような診療がCOVID-19の流行収束後も一部の患者において一般的になることで、医療者の負担軽減や医療サービスの地域格差の軽減等に寄与する可能性が考えられます。しかし一方で聴診や触診ができず、画像検査や血液検査情報がないままの診察となることで、適切な治療が行えない危険性もあります。また、保険薬局に求められる内容も通常の対面診療とは異なる可能性も想定されるが、これまでの報告では明らかとなっていません。そこで今回、電話診療により発行された処方せんと患者情報を調査することで課題を明らかとし、医療者が安全性を高めるために今後行うべき内容を検討することを目的としております。
研究の方法	【方法】対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。 ・患者基本情報：年齢、身長、体重、体表面積、BMI、性別、生活環境(独居か否か)、疾患名、臨床検査値(白血球数、好中球数、血小板数、血色素量、リンパ球数、単球数、血清アルブミン値、ビリルビン値、AST値、ALT値、LDH値、ALP値、血清尿素窒素値、血清クレアチニン値、eGFR、CRP、血清ナトリウム値、血清カルシウム値、血清カリウム値、血清リン値、血清塩化物イオン値、血糖値、HbA1c値、総タンパク値、CK、TG、LDL、HDL、総コレステロール、PT-INR、血圧、BNP) ・薬剤情報 ・診察記事 【評価・解析方法】 データを集計し、電話診療対象者の各部門の傾向や問題点を確認します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部

	に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 薬剤部 (氏名)栗原 啓輔 TEL:053-474-2222(代表) 9:00~17:00 平日